

## 愛媛県宇和海北部沿岸から得られたスソウミヘビ

清水孝昭<sup>1</sup>・榎 浩樹<sup>1</sup><sup>1</sup> 愛媛県農林水産研究所水産研究センター写真1 *Ophichthus urolophus* スソウミヘビ (TKPM-P 24193)

## 種の記録

Ophichthidae ウミヘビ科

*Ophichthus urolophus* (Temminck and Schlegel, 1847)

スソウミヘビ(写真1)

標本 徳島県立博物館魚類標本(TKPM-P) 24193, 全長(TL)347.4mm, 2026年4月22日, 愛媛県西予市三瓶町 大崎鼻から西に9km. 水深70m. 延縄.

## 種の特徴

体は円筒形で細長く, 尾端に向かって緩やかに細くなる。眼は口裂の中央付近に位置し, 眼径は吻長より短い。後鼻孔は上唇の縁辺に開口する。尾鰭はなく, 尾端は尖る。尾部後端にしわ状の構造はない。歯は鋭く主上顎骨歯は1列。背鰭起部は胸鰭の直上より後方に位置する。肛門前方長は全長の43.5%, 胸鰭長は頭長の33.3%。体は黄褐色で, 腹部は白色。肛門より前の側線孔数51。

## 備考

採集個体の上記特徴は角田・町田(2000)および波戸岡(2013)のスソウミヘビに一致するため, 本種と同定した。日本において本種は東北地方太平洋沿岸, 茨城県, 東京湾~鹿児島県の太平洋沿岸, 新潟県~長崎県の日本海・東シナ海沿岸, 瀬戸内海などから記録されており(稲葉編, 1988; 波戸岡, 2013), 愛媛県では1981年に八幡浜市大島周辺から近縁のイナカウミヘビ *Ophichthus asakusae* Jordan and Snyder とともに標本が得られている(サイエンスミュージアムネ

ット, <http://science-net.kahaku.go.jp/>, 2026年4月23日参照)。本報告は愛媛県西予市からの標本に基づく初記録であり, 宇和海北部からの追加記録となる。なお, 本種が採集された地点周辺でもイナカウミヘビが延縄で採集されており(清水・榎, 2025), 宇和海北部で両種は広く同所的に分布するとみられる。

## 謝辞

標本を採集していただいた宇都宮裕也氏に感謝の意を表する。

## 引用文献

- 波戸岡清峰. 2013. ウミヘビ科. 中坊徹次(編), 日本産魚類検索 全種の同定, 第三版, 東海大学出版会, 秦野. 266-277, 1794-1802.
- 稲葉明彦(編). 1988. 増補改訂 瀬戸内海の生物相 II. 広島大学理学部付属向島臨海実験所, 広島. 475pp.
- 角田慎一郎・町田吉彦. 2000. 土佐湾産ウミヘビ科ウミヘビ属魚類 2種の再検討とニシキウミヘビについて. 高知大学海洋生物教育研究センター研究報告, (20):51-69.
- 清水孝昭・榎 浩樹. 2025. 愛媛県宇和海北部沿岸から得られたイナカウミヘビ. 南予生物フィールドノート, 25011. (2026年5月2日受付, 2026年5月4日公開)

清水孝昭(e-mail: simizu-t@sky.hi-ho.ne.jp)

(Takaaki Shimizu and Hiroki Maki. 2025. Additional record of *Ophichthus urolophus* (Ophichthidae) from northern Uwa Sea, Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 26014)